



心はずむ春の香り 揖斐川土手で土筆摘む！

- 「春分の日」を過ぎ、春の穏やかな陽気に恵まれた22日（土）、揖斐川堤防の土筆採りに多くの人が訪れていました。車のナンバープレートを見ますと、名古屋からお越しになっている方も見え、家族連れや、老夫婦など、とても微笑ましい風景でした。たかだか、つくし採りですが、斜面を踏ん張って、中腰でじっと睨むほどに探している様子は、皆、真剣そのものです。ある種、人間とつくしの格闘とも言えます。そこが、この土筆採りの面白みかも知れませんね。



「土筆」を「つくし」とは読みづらいですね。これ以外に、読みづらい漢字を以下に紹介します。

- ・翡翠（かわせみ）
- ・水馬（あめんぼ）
- ・水母（くらげ）
- ・向日葵（ひまわり）
- ・蒲公英（たんぽぽ）
- ・蜻蛉（とんぼ）
- ・雲雀（ひばり）
- ・啄木鳥（きつつき）
- ・泥鰌（どじょう）
- ・蚯蚓（みみず）

- ・つくしは日常たりの良い土地に群生し、田圃の畦、土手の南向き斜面などで見かける身近な山菜です。トクサ科の多年草である「スギナ」の孢子茎で、見た目が筆や馬の尾に似ているため「土筆（つくし）」と書き、英語では「horsetail（馬の尾）」と言います。ほろ苦い「春の味」が楽しめ、栄養的には利尿作用のあるカリウムが豊富です。また、近年、土筆が花粉症に効果があるという研究結果から、某民間会社から「つくし飴」が発売されている様です。

揖斐川右岸42K付近（大垣市東町）
平成26年3月22日撮影

土筆採り来訪者マップ【揖斐川】



- ・ 3月、揖斐川堤防に土筆採りをされていた方の来訪状況について、河川パトロールでの取り纏め結果は上記のとおりです。
- ・ 揖斐川右岸では、JR揖斐川橋梁上流箇所、揖斐川左岸では、名神揖斐川橋下流箇所において、特に来訪者が多いようでした。